

の内印

独立混成歩三師団通信隊

陸軍中尉（陸軍大尉）前田武雄

年月日	概	要
昭六 三 三	編成開始	
三 七	編成完結	
	編成場所	
	東京 近衛カニ師団通信隊補充隊	
	行動の概要及び其の日時	
三 九	東京品川駅発、列車に依り駐屯地たるべき印度支那に向い前進開始	
三 二	福岡深門河市到着	
三 天	門司港出帆	
	上海に向う	
三 三	上海港到着せしも、同地宿営施設等の関係上、南京に転進の為、揚子江を同地に白う	
三 四	南京上陸	
	一時同地附近の警備に任ず	
五 二 二	南京發列車に依り上海に転進、同年同月三日より、同地附近の警備に任ず	

(523)

0533

年月日	概	要
昭五 二 五	輸送船に依り、上海出帆、印度支那西貢に向う	
三 二	逐次、台湾基隆に	
三 四	高雄に寄港	
三 六	高雄港出帆	
三 四	印度支那西貢上陸	
三 二	西貢発、列車に依り中部印度支那警備のため、岷港に前進す	
三 三	岷港着	
	同地附近の整備	
	明号作戦に参加	
	岷港―会安附近に於ける仏印軍の処理を行う	
三 八 四	停戦詔書発令	
三 八 八	復員下令	
三 五	岷港発列車に依り、内地帰還のため海防に集結	
三 四 三	輸送船に依り、海防出帆	
三 四 三	愛知県名古屋に上陸	
二 四 三	復員式終了	
	兵力	
	編成当時	持枝以下 一七八名

仏印外印

(574)

0534

年月日	概	要
	復員当時 右人員中 持校以下 入院 生死不明 死亡 転属	一七八名 五名 一名 二名 七名

(525)

0535